

NO10 源平合戦から鎌倉幕府へ

以仁王の令旨で

NO97 源平の争乱 2014 本試 時期の判断を必要とする文章正誤問題

源平の争乱について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 崇徳上皇と白河上皇の政権をめぐる抗争は、武士の政界進出の契機となった。
保元の乱と平治の乱が武士の政界進出の契機となった ✖
- ② 源平の争乱が終結したのち、院政を再開した後鳥羽上皇は鎌倉幕府との協力関係を重視した。
協力しないから承久の乱へと発展する ✖
- ③ 源平の争乱を描いた『太平記』は琵琶法師によって語られ、人々に親しまれた。
太平記でなく平家物語 ✖
- ④ 源頼朝は、平氏が西国へ敗走したのち、後白河法皇と交渉し、東国支配の権限を認められた。

正解⇒④教科書 97 参照

NO98 源平の争乱と鎌倉幕府 2015 本試 正誤問題

1179 年清盛は法皇を幽閉した。その事件後に清盛がとった行動を述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 清盛は奥州の藤原清衡を攻め滅ぼした。 ✖
- ② 清盛は、この事件で没収した所領に新補地頭を任命した。清盛でなく頼朝 ✖
- ③ 清盛は、自身の拠点である福原への遷都を計画した。 ○
- ④ 清盛は、さかんに造寺、造仏を行い、法勝寺を造立した。法勝寺建立は白河天皇 ✖

正解⇒③


NO99 源頼朝 2011 本試 正誤

源頼朝による武家政権の形成について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 御家人を諸国の守護や荘園・公領の地頭とし、東国以外にも支配を広げた。
- ② 朝廷を監視するために、京都に六波羅探題を置いた。朝廷を監視するためでなく西国の御家人を監視するためである ✖
- ③ 御家人を統率する侍所を設置し、和田義盛を長官に任じた。 ○
- ④ 源義経らを用いて平氏を壇ノ浦に滅亡させた。 ○

正解⇒②

源平の戦い年表ワーク①

年				
1167	2	【平清盛】⇒【後白河法皇】のもとで【太政大臣】に就任。娘＝徳子が【高倉】天皇の中宮に。孫の【安徳】天皇即位で権勢ふるう。		
1177	11	【鹿ヶ谷】の陰謀⇒平氏転覆計画が発覚首謀者は後白河の		

		院近臣 藤原成親 ・僧 俊寛 らで、ともに処刑される。			
1179		後白河法皇、平家に対し、死後の所領没収などを繰り返す。こうした反平氏的な動きに対し、清盛は法皇の院政を停止し、法皇を 鳥羽殿 に幽閉する。			
1180		平清盛、摂津国に 大輪田泊 修築を行う。この他安芸国に 音戸の瀬戸 を開いた。			
1180	5	【1 以仁王】が平家追討の【令旨】を出す。→〔1〕自身も〔源頼政〕と宇治で挙兵→敗北⇒清盛は動揺して六波羅から摂津国〔福原〕に遷都※ただし、年内に京都に還都			
	8	→諸国の源氏が呼応し、治承・寿永の乱と呼ばれる源平争乱へ★〔伊豆〕では源頼朝が挙兵〔✖石橋山〕の戦いで平家に惨敗。頼朝、源氏ゆかりの鎌倉に入り、その後駿河国〔✖富士川〕の戦いで勝利。	1180	11	【侍所】の設置⇒初代別当(御家人：8 和田義盛) となる。
	9	★信濃木曾では〔9 源義仲 〕が挙兵			
1180	12	✖ 平重衡 (清盛の子)、源氏方に加担する南都(東大寺・興福寺)を焼き討ち。 八世紀に聖武天皇が鎮護国家の理想を込めて造営した東大寺と、藤原氏の氏寺である興福寺、奈良を代表する二つの巨大寺院の、重衡軍の放火による炎上焼亡。それは公家達にとってこの世の終わりを思わせる悪夢だった。大仏再建は醍醐寺の僧 重源 が担う。			
1181		平清盛死去			
		〔2 俱利伽羅峠 〕の戦い⇒義仲はこの勢いで入京、粗暴な行			

		為多く、都での人心失う。			
1183	7	一方、平家は〔3 安徳 〕天皇を奉じて「都落ち」幼少の後白河法皇が、義仲に内密で頼朝と連絡をとる	1183	10	→頼朝の東国支配権を認める 宣旨 〔〔4 寿永 〕二年十月の宣旨〕これにより東国…〔5 東海 〕道と〔6 東山 〕支配権。 北陸道は義仲
1184		源頼範・義経、義仲を討つ一の谷合戦	1184	10	一般政務を扱う〔公文所〕裁判事務を扱う〔問注所〕設置
1185		屋島の戦い 【 壇の浦 】の戦い、平氏滅亡			

NO100 関東御領と鎌倉時代の守護 2017 本

下の文章を読み、下の問いに答えよ。

(a)鎌倉幕府の支配の基盤には、将軍と御家人の間に結ばれた主従関係があった。先祖伝来の所領に対する支配を保証された御家人は、軍事的な奉仕で将軍の恩に報いた。彼らはまた、合戦での戦功によって、新たな所領を恩賞として獲得した。一族の維持、拡大をめざす彼らにとって、恩賞は大きな関心事であったから、その配分をめぐる不満が、政治に大きな影響を与えることがあった。

問 下線部(a)に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 平氏から没収した荘園を含む関東御領は、幕府の経済基盤となった。

Y 守護は、天皇や将軍の御所を警護する京都大番役の催促を職務とした。

① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

正解→①。関東御領とは平家没官領を含む大量の荘園をいう。

NO101 鎌倉時代の地頭 2009 本試 正誤

鎌倉時代の地頭について述べた文として正しいものを、次の1～4のうちから一つ選べ。

- ① 地頭は全国の公領のみに置かれた。荘園・公領ごとだから✕
- ② 地頭の権限は、大犯三カ条とよばれた。大犯三カ条は守護の権限✕
- ③ 地頭の収益を保障するため、頼朝は新補率法を定めた。頼朝でなく北条泰時✕
- ④ 地頭は、年貢徴収・納入や土地管理・治安維持に当たった。○

正解→④

NO102 鎌倉時代の政治史

13 世紀初期の政治史に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の1～4のうちから一つ選べ。

X 源頼家が将軍の地位を追われ、幽閉された。

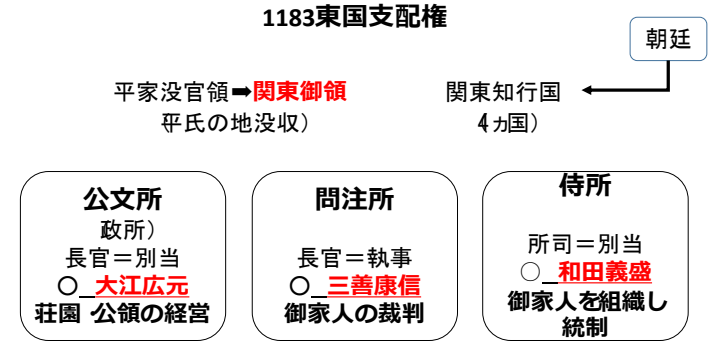
Y 北条義時は、政所別当に加えて侍所別当を兼任した。

1. X-正 Y-正

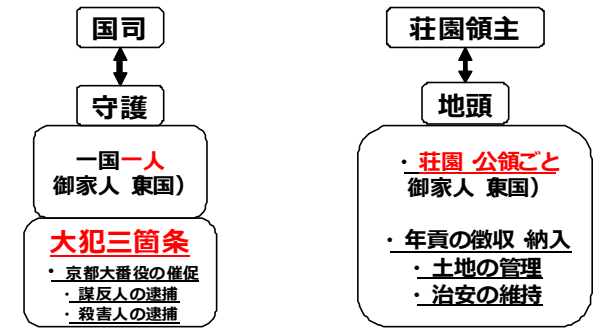


- 2. X-正 Y-誤
 - 3. X-誤 Y-正
 - 4. X-誤 Y-誤
- 正解→3

鎌倉幕府の極意



守護・地頭の極意



守護・地頭の設置→ **1185** 年

頼朝は後白河法皇から義経追討を命じられたことをきっかけに全国に守護・地頭を置いた。

御恩と奉公の鎌倉幕府

